

令和4年 3月 30日

（あて先）熊本市長

団体名 エコ村伝承館

代表者 職名 代表

氏名 桜井 良明



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

令和3年 4月1日付け指令（地活）第1-8号により、熊本市市民公益活動支援助成金の

交付決定※を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第21条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業
体験型環境学習活動の熊本市内への更なる展開

2 助成事業の実施期間

令和 3年 4月1日 ～ 令和 4年 3月 25日

3 助成事業の内容

過去15年以上、熊本県内での活動をしている中で、熊本市内でのイベント開催をより広く展開し、多くの方に『美しい地球を守る』為に何ができるかを竹などの材料を使って、竹トンボや水鉄砲などを作る「伝承遊びのものづくり」を楽しみながら、環境学習活動を展開しました。

4 事業の成果

事業1

全年を通してのコロナ禍の中、エコ村伝承館の特長を生かし、屋外などでの3密を避けてのイベントで、熊本市内の方々からの派遣依頼に応じ、これまでに8回の派遣を実施しました。参加者数が延べ323人、会員派遣が延べ58人、自主活動（竹林の下草刈り）は7回実施し、延べ18人が活動しました。

参加された皆さんは、地球環境保全のために自分たちは何をしなければならないかについて考えるヒントを得たばかりではなく、ものづくり体験では、親子（お年寄りと孫も）での触れ合いを含めとても楽しんで頂きました。

事業2

一泊での研修では、会員に対し、活動時の注意点の説明、材料準備の実践体験（竹トンボ、ミニ門松づくり、ブンブンセミ等）を行い、夕食ではエコクッキングの研修を行いました。

指導者2名、新規入会会員8名で実施し、今後の活動に当たって十分な知識とスキルを身につけました。

※ 第30回「くまもと環境賞」で、【くまもと環境教育賞】【永年活動表彰】を熊本県より頂きました。

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書（様式第16号）

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

- ・令和3年度 エコ村伝承館 エコロジスト・リーダー派遣実績 （熊本市内を抜粋）
- ・令和3年度 エコ村伝承館 実施日別人件費
- ・令和3年度 エコ村伝承館 実施日別交通費
- ・令和3年度 エコ村伝承館 出納簿（支出項目別）

(3) その他参考となる資料

- ・エコ村伝承館 2021年度活動状況 （全実施イベント）
- ・くまもとわくわく基金助成対象イベントの交通費確認 Mapfan で検索

事業収支決算書

◆収入決算

項 目	金 額	内 訳
会費	0	
当該事業による収益	70,000	材料費の徴収 ※材料費は100～200円/人
当該事業に対する寄附・協賛金	0	
その他の自己資金	17,587	会費、受託金の一部より充当
当該事業に対する助成金額	118,810	
その他の補助金、助成金等【D】	0	
合 計	206,397	

◆支出決算(事業別)

事業名 支出費目	事業1	事業2	事業3	合計
	依頼イベントへの 参加	エコ村伝承館会員への 指導者教育		
人件費	69,000	4,000		73,000
報償費	0	0		0
旅費	44,480	13,900		58,380
人件費等合計【A】	113,480	17,900		131,380
役務費	10,110	0		10,110
使用料・賃借料	0	14,100		14,100
事務・消耗品費	48,993	1,814		50,807
委託費	0	0		0
合計	172,583	33,814		206,397

助成申請上限額(助成種別:ステップアップ助成)

$$〔事業費 206,397 - 控除額【E】 28,182〕 \times 2/3 = 118,810$$

※控除額…超過人件費(人件費等の合計が事業費の1/2を超えた部分)とその他助成金の合計

人件費等の合計【A】	131,380	➤	超過人件費【C】※	28,182
事業費の1/2【B】	103,198		その他助成金【D】	0
超過人件費【A-B】…【C】	28,182		控除額【E】	28,182

※マイナスの場合は0円

◆支出内訳（事業別）

事業１〔 依頼イベントへの参加（リピート対応と西、南区の新規開拓を含む） 〕

人件費	1000 円/半日の活動費×27 人＝27, 000 円 2000 円/全日の活動費×21 人＝42, 000 円
報償費	0
旅費	スタッフの自宅からイベント会場までの交通費 （別表添付） 旅費合計 44, 480 円
役務費	会員その他への資料送付など （別表添付） 役務費合計 10, 110 円
使用料・賃借料	0
事務・消耗品費	学習指導、竹細工の作業に必要な工具を購入 ものづくり体験で作るものの各材料を購入 （別紙参照） 今年度は新型コロナ対応のアルコールなども購入 事務・消耗品費合計 48, 993 円
委託費	0

事業２〔 エコ村伝承館会員への指導者教育（スキルの向上とノウハウの継承） 〕

人件費	研修指導費 2, 000 円×2 名＝4000 円 （今年度は1 回実施）
報償費	0
旅費	研修受講者、講師が研修場所までの交通費 旅費合計 13, 900 円
役務費	0
使用料・賃借料	日帰り研修会（SDGs 教育研修）2, 100 円、一泊研修会 12, 000 円 賃貸料合計 14, 100 円
事務・消耗品費	資料（マニュアルなど）配布などでコピー用紙を購入 事務・消耗品費合計 1, 814 円
委託費	0

事業報告書

実施年度	令和3 (2021) 年度
事業名	くまもと・わくわく基金「公益社団法人熊本法人会ファンド」助成事業 体験型環境学習活動の熊本市内への更なる展開
事業期間	令和3年4月1日 ～ 令和4年3月 25 日
事業の目的	私たちが取り組む活動によって、子どもたちが大人になっていく過程において自然や環境を大切にするという気持ちが育まれていき、大きくなってから社会のなかで役に立てることを願っています。
具体的な 事業内容	熊本市内での年間活動24回の中で、依頼イベントが、保育園など4回、子ども食堂3回、マルシェ6回公共・地区自治体2回と、材料調達が9回でした。 事業1. 依頼イベントへの参加に当たっては 材料調達（竹の切り出しとカット、ビーズの袋詰めなど）と参加スタッフの募集連絡、当日の移動と指導、活動報告書作成など実施。 ※竹の切り出しに当たっては、放置竹林での高齢な地主様との交渉で、タケノコの伐採、倒れた竹の片づけなども実施しました。 ① 日時・場所 ・幼稚園・学校などでは2時間で20分程度の環境の座学と体験学習、・公共団体のイベントでは 10時～15時（又は16時）まで ② 内容（1イベントに複数種類あり） ・ブンブンセミ2回 ミニ門松づくり2回 竹馬・竹ぼっくり2回 水てっぽう2回 リグラスアート1回 マルシェでの竹細工6回でした。 ③ 講師・スタッフ ・エコ村伝承館会員 延べ58人 ④ 広報 ・熊本県環境センターのHP、会員によるFacebook 公開中 ・各イベントでのパンフレット・名刺などの配布と内容説明実施 ⇒パンフレットを見ての問い合わせ、依頼に繋がりました。 事業2. 今年度は新型コロナ禍ではありましたが、一段落した時に一泊研修会で、エコ村伝承館会員への指導者教育（スキルの向上とノウハウの継承）と 竹とんぼ制作、ミニ門松の材料の準備体験を行いました。 また、だれでも同じ指導ができるように、マニュアルの作成・配布と、指導に当たっての注意点について説明を行いました。 また、SDGs についての理解を深め、子どもたちにきちんとした内容で教えることが出来るようにするため、場所を変えて、日帰りでの研修を実施しました。 ※今年度の研修会は2回
実施場所	熊本市内（保育園など4回、子ども食堂3回、マルシェ6回、公共・地区自治体2回）
協力団体	熊本県環境センター：問い合わせ仲介、団体内での講話会での講師派遣など

事業の効果 ・公益性	活動の地域は、熊本市内での年間活動24回の中で、東区6回、中央区4回、北区3回、南区2回で、竹の切り出しでは9回でした。 コロナ禍の為、特別養護老人施設や公共での催しなどで中止されたため、屋外での3密を避けての活動を増やしました。 依頼団体は、保育園など4回、子ども食堂3回、マルシェ（自然食品販売会）6回、公共・地区自治体2回でした。 研修会では、コロナ禍が下火になった時に一泊での研修を実施し、会員を対象に、指導者2名、会員8名で実施し、材料の準備での実働と、エコクッキングなど、今後の活動に当たって十分な知識とスキルを身につけました。 また、SDGsについての理解を深め、子どもたちにきちんとした内容で教えることが出来るようにするため、場所を変えて、日帰りでの研修を実施しました。
次年度以降の事業展望	今後も、市内全域にわたって、イベントの開催を促進し、エコ村伝承館の活動の効果で、多くの子供たちに『地球環境の保護のために自分たちは何をしなければならないか』をしっかりと身につけていけるようにいたします。 また、新規会員の加入を進め、ベテラン会員のスキルを学ぶ場を設け、会の活動の継続と発展を図ります。
事業への思い （当事業によってどのような熊本市にしていきたいか）	今年度は、エコ村伝承館独自の講習会を実施し、熊本県環境センター主催のエコロジスト・リーダー研修会には、多くの会員が参加し、SDGsに対する講義や、マイクロプラスチックでの問題点について学び、プラスチック再生工場の見学を行いました。 また森林ボランティア団体が主催する報告会にも積極的に参加し、関係する多くの団体との連携とコラボレーションを図るとともに、体験学習、伝統文化の体験の場を提供することで各地域の子供や大人の方々のコミュニケーションを深め、地域住民の環境に対する意識向上に貢献します。 その結果、伝統と自然を愛する心豊かな熊本市民による、大きな自然災害を乗り越ったエネルギーあふれる熊本市の未来に向けた発展の一助になりたいと思います。